

令和元年度第4回社会教育委員の会議

令和元年8月26日(月)

午前9時30分開会

開催日時	令和元年8月26日	開会 9時30分 閉会 11時30分	
場 所	小金井市役所第二庁舎8階801会議室		
出席委員	議 長 小山田佳代 副 議 長 原田 隆司 委 員 所 夏目 委 員 首藤 由憲 委 員 石田 静子	委 員 城 瑞枝 委 員 柴田彩千子 委 員 福井 高雄	
説明のため出席した者の職氏名	生涯学習部長 藤本 裕 生涯学習課長 関 次郎 生涯学習部オリンピック・パラリンピック兼スポーツ振興担当課長 内田 雄介	図書館長 菊池 幸子 公民館長 林 文男	
事務局	生涯学習係長 小堀久美子 生涯学習係主任 鈴木 政博		
傍聴者人数	4名		

日程	議 題	
第1	協 議 事 項	<ul style="list-style-type: none"> (1) 会議録の承認について (2) 令和元年度視察研修について（まとめ） (3) 第29期社会教育委員会の会議について（まとめ） (4) 第3次小金井市生涯学習推進計画の評価について（平成30年度分） (5) 全国大会等に参加する団体への補助金の交付について (6) その他
第2	報 告 事 項	<ul style="list-style-type: none"> (1) 令和元年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会第1回理事会について (2) 第50回関東甲信越社会教育研究大会の参加について (3) 小金井市公民館中長期計画策定に係る中間報告について (4) その他

資料1になります。皆様からですね、レポートご提出いただきまして、どうもありがとうございました。それで、この間、小委員会でも皆さんと検討したんですが、皆様が書いてくださっているものは生かして、最後のまとめの部分を、この間小委員会のほうで話をさせていただいたというような感じなんですが、ちょっと皆さんに1、2分読んでいただいて、何かあればご意見を伺いたいと思いますので、お読みください。

はい、では、今回はご感想をそのままお名前を入れさせていただいて、まとめておりますので、それぞれの皆様のご意見等もあるんですが、立川市では立川市役所の生涯学習センターの方と、あと指導室の方に立川のコミュニティ・スクール、生涯学習推進センターについてお話をいただきました。立川市民科というものがあって、生涯学習センターがコーディネーター役というような形で進められているということでしたが、そこでは小中学校で人づくりに取り組みながら、いろんな授業や体験学習などを展開していくというお話を伺いました。三鷹市では、実際にコミュニティ・スクールに伺いまして、第五中、鷹南学園でしたけれども、校長先生やコミュニティ・スクールの会長、前会長、学園長も来てくださりまして、鷹南の学園で実際に行われていることをスライドなどを使ってご説明いただいたり、質疑応答というようなことで、いろんなお話を伺うことができました。感想について、それぞれ皆さん書いていただいておりますが、本当にいろいろ参考になることがたくさんあったと思います。最後、まとめのところだけ、小委員会で作成しましたので、もしこれに加えてほしいとか、何かありましたら、ご意見を伺えたらと思います。一番最後の5のまとめの部分で、皆様の感想からということで、小金井市のコミュニティスクール、地域学校協働活動を今後推進していくにあたって、必要だと思われることを以下のとおりまとめました、ということで、8点にまとめております。1が力強く推進をする人と持続可能な組織づくりをすること。2がワンテーマに絞り込んだ明確な目標（人間力、社会力、市民力等の育成に繋がるもの）を熟議し、設定すること。3、CSコミュニティスクールの推進員が有償で配置できるように予算付けをすること。4、コーディネーターの位置付けをして育成をすること。5、地域の公民館と学校との連携についても考えていくこと。6、小学校中学校の連携を視野に入れていくこと。7、市職員や市民に

コミュニティスクール、地域学校協働活動について学ぶ機会をつくり啓蒙活動をすること。8、関係する部署や学校、地域が横につながりを連携して教育活動をすること。ということで、まとめさせていただきました。それぞれ意味があつてですけれども、そのあたり、不足を原田副議長お願いいたします。

原田副議長

はい。皆さんいろいろな角度から感想を書かれているんですが、それから共通項を絞り出すとこういう8項目くらいになるのかなと、いうようなまとめになっているかと思えます。我々は教育長に対して提言を出したわけですが、あれでもちろんゴールじゃなくて、むしろ提言から始まるということですね。これから具体的に進めていただかないといけないことなんですが、その間の委員会としてきちっと進行状況をチェックする上で、こういう8つの項目については重点的に見ていったらどうか、という感じかなと思えます。特に2つのモデル地区を見て、推進する1番と2番ですね、人と組織づくりがきちっとできているかどうか、それからもう1つは、三鷹も立川も明確なテーマがあつたということですね、立川市民科とか小中一貫教育とか。そういうものに相当するものが、小金井市として何か設定できるのか、その辺のことが特に重要ではないかなというふうに感じております。以上です。

小山田議長

はい。この間小委員会でご出席いただきました方々との意見交換をしてまとめたものですが出席された小委員会委員の方、何かありますか。

福井委員

はい。福井です。この最後のページの5番の、今原田委員のほうでは1と2のところということで説明されたんですけど、私は5と6というのはやはり注視すべきじゃないかなと思えます。公民館と学校との連携ということで、立川市のほうもやはり、公民館ではなくて、立川市の場合は地域学習館という呼称を使っているんですけど、地域学習館と学校との連携不足が課題であるということ言われております。小金井市も公民館との学校との連携というのは非常にゼロに近いと思えますから、その辺の連携、例えば1から8まであるんですけど、それらの優先順位として1つできるところから進めるということで、できたら5番というところをすぐ取りか

かれるんじゃないかと思います。

もう1点、小学校中学校の連携を視野にということなんですけれど、コミュニティ・スクールの基本は1中学校区に2小学校を入れるということで、コミュニティ・スクールを立川市も三鷹市もスタートしていますが、非常に、小学校、中学校は太いパイプで連携しながら地域活動をしているとうことでしたが、残念ながら小金井市は小学校、中学校は極端に言えば、連携度ゼロであるということだと思いますから、極力できることからスタートするというので、公民館と学校の連携を1つ目、2つ目としては、どうやれば小学校、中学校の連携ができるかと、それが小金井市のコミュニティ・スクール及び地域学校協働活動ということに繋がってくると思いますから、その辺のできるものからスタートしていけばと思います。以上です。

小山田議長

はい、ありがとうございます。柴田委員。お願いします。

柴田委員

はい。私もこのまとめの中で、特に2つ強調したいことがあるんですけども、1つは、地域の公民館と学校との連携についてです。立川市の場合は、先ほど福井委員もおっしゃったように、地域学習館という位置づけで公民館が機能していますが、そこでの連携不足を今後考えていくというスタンスをとっていますが、立川市の場合は、しっかりとした生涯学習センターがあって、そこで地域のどういう人材がいるかということも把握していますし、さまざまな市民の方がそこに参画をして、そのセンターを広報づくりから運営をしているという背景がありますので、本市の場合は、そういうセンターがないということも1つ、立川と比較する際に大きな相違点としてあると思うんですけども、そういったことも踏まえて、公民館と学校との連携、生涯学習社会教育と学校との連携ということを考えていくことが必要なのではないかと思います。

もう1つは、CS推進員についてです。三鷹市の場合は、CSの学園長が、会長の方がおっしゃっていた言葉で、私も今回のレポートの中に書かせていただいたんですが、100のねぎらいの言葉より予算付けを、という言葉がとても印象的でした。この推進員というのが、三鷹市の場合は週3日20時間、学校の中にしっかりとデスクを置いて、位置づけているということで、このCS推進員が、

コミュニティスクール学校運営協議会の委員も兼ねているということで、情報をしっかりそこに一括して集中することができますし、こういった人たちが学校運営協議会の議事録をしっかりと作成したり、さまざまなコーディネートをしているというところで、周りのそこに関わる大人の方たちが安心してこの取り組みに参画できる体制が整っていますので、もし本市でもコミュニティ・スクール導入の際には、CS推進員を配置するということを強調していただけたらと思いました。以上です。

小山田議長 はい、わかりました。石田委員、研修には行かれませんでした、この報告を見て何かございましたらお願いします。

石田委員 私は研修には参加できなかったんですが、このまとめを見ていて、3番のCS推進員、今柴田委員も言いましたが、やっぱり有償でできることによって進められる部分がすごく多いと思いますので、ボランティアだけではなく、予算をとることによって推進員が動くことも重要かと思えます。ですから12345678、全てが重要で、全てを進めてほしい、ということになるかと思えます。

小山田議長 その他の委員の皆様は何かご意見等、特に何か付け足してほしいこととか、何かございますか。はい。

所委員 では、済みません。まず、3番のCS推進員を有償で、ということなんですけど、たぶんこのCS推進員という言葉自体が三鷹独自の名称ではないかなと思われま。なので、もしここにまとめとして書くのであれば、地域学校協働活動推進委員ですかね、確認をして、正式名称で書いたほうがいいかなと思いました。それから、3番については、本当に有償で配置していただけると学校としても非常にありがたいと思えます。それから6番の小中学校の連携を視野に入れていくということなんですけれども、今、小金井市の各学校で連携が全くゼロというわけではなくて、それは視野に入れて学校教育活動をそれぞれの学校でやっています。例えば、この緑中学校区で言えば、学区がきちんと2小1中になっている学区なんですね。唯一、小金井の中で。なので、月に1回、校長は連絡会があって、そこで情報共有をしたりですとか、あと年に1回は教員の学びの機

会があつたります。そういった形で連携は視野に入れつつ、分離型ですけれども教育活動をしているとご理解いただけたらなと思えます。連携を視野に入れることは非常に重要だと捉えております。

柴田委員 先ほど、所委員のご指摘にありましたCS推進員ですが、三鷹市の場合には正式名を学校協働参画推進員というふうに言っております。三鷹市独自の予算となっているようです。

所委員 そうなんです。ありがとうございます。

小山田議長 では、他に何かございますでしょうか。

首藤委員 ここにまとめていただいていること自身に変更ということではないのですが、この中身でもう少し補足したいんですが、まず2番についてはすごく大事な項目だと思います。市全体としてというか、小金井市民が、どのような子どもたちを育てたいと思うのかということ、やっぱり明確にしていく必要があると思います。上から何かテーマを与えるのではなくて、何かそれをどう拾っていくのかという大事なことだと思うんですけど、結局、市民として自分たちの子どもを将来にわたってどういう育て方、どういう人に育てたいのかということ、明確にしていく必要があつて、それがきちっとできていけば、けっこう芯がぶれないのかなというふうに思いました。

それから、1番ですが、この中にも包括の意味では書いていただいていると思いますが、コミュニティスクールをどこの学校にするのか、という選定をする時に、多分、今最も進んでいる学校がターゲットになって、そこから始めようと、いうことを考えているのかなというふうに思うんですが、一方で、そういうやり方でやると、どこかで過去のしがらみも含めて、行き詰まることもあるかもしれないという気がします。もう1つは、やっぱり先ほどの2番のテーマで言いましたように、どういう子どもたちを育てたいのかということをはっきりすれば、テーマに合う形で、ゼロからやってみるということも大事かなというふうに思いますし、いずれのやり方をするにしても、最終形ですね、それをどう、市全体に展開していくのかという計画を明確にしてから始めていくということがすごく大事だろうというふうに思うんですね。やりやすい所からやるとい

うことで、終わってしまわないように、それを最後のところはどう市全体に網羅して、うまくやっていくのか、という計画書そのものを、まず最初につくっていくということがすごく大事なことなんじゃないのかなというふうに思いました。以上です。

小山田議長 はい、ありがとうございます。では、ちょっとそのあたりを加えて。城委員、何かございますか。

城委員 よくまとめてらっしゃるなと思うし、三鷹市にしる、立川市にしる、すごくいろいろプログラムを考え、いろんなことをなさっているというのを感じましたし、三鷹市については、普通お母様たちが中心となって進めることが多いと思いますが、お父様たちが入っているというのは、すごいなと感じました。あとのまとめのほうは、よく考えてらっしゃるので、いいのかなと思いました。

小山田議長 はい、ありがとうございました。では、先ほど原田委員の発言にもあったとおり、本委員会として提言書出して、このところずっとコミュニティ・スクール、地域学校協働活動について私ども議論してきて、そして最後に視察研修も行けたということで、いろいろなビジョンが自分たちも明確になったと思います。今後、それをどう広めていくかということになると思うんですけども、本当にいい視察ができたと思います。ありがとうございました。私も最後に書かせていただきましたが、所委員もおっしゃってましたけど、実は小金井市でもすでにやっていることもあり、また地域資源もあり、とりあえず今あるものを、もう一度見直したり掘り起こしたりして、繋いでいくということで、まずは小金井スタイルという小金井らしいコミュニティ・スクール、地域学校協働活動ができるのではないかとことをまた改めて感じまして、先ほど首藤委員もおっしゃるように、やっぱり最初に明確なる、小金井の子どもたちにどうなってもらいたいのか、そういう熟議討議ができるようなまず機会があるといいのかなと思いましたが、それによってゼロからまたスタートというのはありますし、今ある地域資源を使うというのもあるし、本当に皆さんでいろいろと考えていきながら進めていければいいのかなというのを、思ったところです。これがスタートなので、今後も小金井市でどうやってコミュニティを作っていくのか、地域学

校協働活動が広がっていくかというところは、社会教育委員の役割としては引き続き見守っていただけたらと思いますので、よろしくをお願いします。ということで、視察研修の報告書は、皆様のご意見を入れて、少し言葉を変えたいと思いますので、よろしくお願いします。ありがとうございました。

では、引き続きですが、第29期社会教育委員の会議についての今期のまとめということで、2年間のまとめを、小堀さんにまとめていただいていたんですけども、ご説明いただいてもよろしいですか。

小堀生涯学習係長 はい、では、説明させていただきます。上から1234、4つ目までは、これまで会議の中で実際に協議検討していただいたことをまとめて書かせていただいています。最後のところは、私のほうで作ってしまっているのですが、しっかり見ていただければと思うんですけど、基本的には小山田議長がまとめてくださった先ほどの資料1の最後にのまとめをそのままある程度使わせていただいて、こういったことも検討してくださいというようなことで書いております。中身を見ていただいて、こういったこともやったんじゃないかとか、もうちょっと違う書き方をしたほうがということがあれば、どんどん言っていただければと思います。以上です。

小山田議長 はい。この第29期ですが、まず最初に第3次の小金井市の生涯学習計画の評価ということで、こちらの進捗状況の評価を行いました。続きましては、三者懇親会、三者合同会議が実施がありまして、今年度は本会議が三者の事務局となりましたので、三者懇親会では、地域学校協働のコミュニティ・スクールについてということテーマに柴田委員にお話しいただいて、私から提言の説明等させていただき、グループディスカッションというのを行いました。

続きましては、生涯学習支援センター機能ということで、これは平成25年に三者による提言「小金井市生涯学習支援センター機能の実現に向けて」という提言書が提出されました。それに向けて何かできるところから、ということで、生涯学習センター機能を充実させる、まずはホームページからという検討になりまして、ホームページを今の既存の市のホームページの中に、まず生涯学習情報コーナーを設置するというので、今期の当初はこのお話をしてい

たと思います。いろいろなシートとかもつくりまして、今も市のホームページの中に生涯学習情報コーナーということで、設置しているんですが、今後さらにホームページの充実や発信の方法についても検討していく必要があるんじゃないかということで、29期では、つくったというところで終わってますので、こちらですね、また次の30期でさらにどうすればホームページが充実するか等の、あと生涯学習センター機能ということでも、ホームページ以外にもいろいろできることがあるかもしれないと、またそのあたりもご検討いただけたらと思います。

それから、小金井市での地域学校協働活動の実現に向けての提言の提出。これは今日もまとめがありましたけれども、29期の中では大きいことだったのではないかと思います。提言を出したところではありますが、今後も見守っていく必要があるということで、大きくはこの4つが挙げられておりますが、思い返していただいて、その他何か、これもやりましたよねということが、ここに加えたほうがよいようなことがありましたら、ご意見がいただけたらと思いますが。科学の祭典への出展とかもあったと思いますがいかがですか。

石田委員 自由参加だから入れなくてもいいかと思います。

小山田議長 自由参加だから入れなくてもよいですか。

石田委員 委員会としてまとまってやったことではあると思いますが。

原田副議長 やっぱり、この2年間の記憶としては、今日も議論している地域学校協働活動をどう進めていくかということに収れんして、実際の研修も踏まえた熟慮ができたのかなと思いますので、このポイントのまとめでよろしいかと私は思いますけれども、いかがでしょう。

福井委員 はい、福井です。このとおりでいいと思いますが、下から2段目、視察研修で八王子と国分寺が29期の視察研修ということだけを書かれているんですけど、先ほど視察研修で直近で行った立川市・三鷹市も、この行間の中の1つの視察研修としては、29期として実施したということはこの書面としては残されていたほうが

いいと思いますので、もう2、3行プラスして加えていただければと思います。以上です。

小山田議長 はい。そうですね。では、視察研修ということで1つたててもらって、八王子と国分寺も行きましたし、今年度は立川市、三鷹と行ったということを残すために、視察研修についてという項目を1つ立てていただいて、並べていただければいいのかと思います。よろしくをお願いします。ほかに何かございますか。

小堀生涯学習係長 小山田さんの意見だと、この1 2 3 4つ目の2つ、活動の実現に向けてのところが、まだその段階では、ここの2つしか研修に行っていないなということで、そこはちょっと書いてなくて、後ろの、来期に向けた検討のお願いの間に、研修のことをまた別途入れたほうがいい。

小山田議長 そうですね。

原田副議長 生涯学習支援センターの次に研修、この期で4カ所行ったものですから、それを先に書いていただいて、この提言のところでは、前半の研修を踏まえてという形になり、後半の2か所については、最後の項目というふうにしたらよいのではないのでしょうか。

小山田議長 そうですね、順番についても考えていただいて。

小堀生涯学習係長 はい。わかりました。

原田副議長 ちょっと量が増えてしまうので、どこか削らないといけないかもしれないですが。

小山田議長 そうですね、視察研修についてのところで、地域学校協働実現に向けての提言についての2番目のところで、割と詳しく書いていただいているんですが、それを視察研修についてのところに入れていただいて、ここは、上記の視察研修の八王子、国分寺というようなことを参考にしたくらいに、この提言の提出のところは短くしていただければいいのかなと思います。

来期に向けた検討でコミュニティ・スクールもですが、今、私もお話しの中にも言いましたが、やはり生涯学習センターのホームページもあのままでいいのかというのは私も気にはなっていて、ちょっと今期では、あの後議論する時間もなくなってしまうんですが、もう少し充実させたりとか、継続で検討していただけたらと思いますので、少し、最後その項目も入れていただけたらと思います。他にはよろしいでしょうか。

原田副議長 ちょっと細かいことですが、最後に検討のお願いとあって、文末が検討していただきたいと書いてあるんですが、これは誰に対してお願いしているのでしょうか。

小山田議長 30期の皆様にとということになりますか。

小堀生涯学習係長 そうですね、本日こちらの内容を確認していただき、検討内容を反映したものに資料に手直しをして、来期の資料にしたいと思っていますので、来期の方に向けて書いているものになります。

原田副議長 ということですね。はい。わかりました。

小山田議長 来期に向けた方へのお願いということで。

小堀生涯学習係長 検討のお願いの文体について、最初はですます調で作成していたのですが、そこまではずっと違う文体でしたので、急にですます調になるのも変かと思ひまして、ちょっと悩んだんですけど、このような感じになりました。

原田副議長 わかりました。

小山田議長 はい。2年間ということで、あっという間だったんですけど、このような形にまとめていただけてありがとうございます。
あと、ちょうど今日の東京地域教育の中にT o k y o・スクールコミュニティ・プロジェクトの展開ということが詳しく書いてありますので、これもまた皆さん今度見ていただいて、統括コーディネーターの配置ですとか、いろんなことが今後の東京の構想というこ

とで書かれておりますので、今日の資料でもちゃんと書いていますけれど、また参考に読んでいただければと思います。よろしくお願いいたします。

では、他になければこれでまとめます。もしまだ何かあとで思いついたことがあれば、またメールとかいただいても大丈夫かと思えます。今週いっぱいくらいだと大丈夫かと思えますので、一応では2年間のまとめはこれで終了とさせていただきます。どうもありがとうございました。

では続きまして、第3次小金井市生涯学習推進計画の評価について、平成30年度分ということで、こちら小堀さんのほうからご説明よろしいでしょうか。

小堀生涯学習係長 はい。こちら資料3「第3次小金井市生涯学習推進計画の評価について(平成30年度)」こちらは、前年度は事前にメールで送信させていただいたかと思いましたが、今年度はこの場でお出しすることになってしまいまして、申し訳ありません。全体的に平成30年度につきましては、市政60周年というところもありまして、そこで新しい事業を、新しいというか、単年度の事業を行ったものもありますし、あと2020東京オリンピック・パラリンピックの関係で、平成30年度から新しく始めた事業等がございました。評価としては、計画前の平成26年度、そして計画の最終年度である平成32年度の目標と比較して、今回の値が平成32年度をクリアしていればA、そして26年度を越えて32年度には達していない値の場合はB、平成26年度とほぼ同じくらいの値についてはC、平成26年度よりも大幅に下回っている場合はDという、A B C Dの評価としていますが、その中で、事業数が評価に直結するものも何個かあり、先ほどご説明したとおり、周年記念事業やオリパラ関連事業の増加等により、平成29年度の評価ではBだったものが平成30年度の評価ではAになっているというものも多くありまして、最終的にA評価が5事業から10事業に増加しています。また、A B C DのDの事業だったものも、前回は3事業ありまして、そのうち図書館については、改修工事で一定期間図書館の運営が頻繁にできなかった期間がありますので、ここで貸出数が減っていた部分が、2年前と同数になって、評価がCに変わったものとか、あと平和人権に関する事業についても、平成30年度に内容を少し見直しをし

たため、Cの評価になったということもありまして、全体的には評価が平成29年度よりも上がっているような形になっております。詳細は資料を見ていただきたいと思います。以上です。

小山田議長 はい、ありがとうございました。今日配られたので、皆さんちょっと熟読できる時間がないかもしれないんですが、さっと見ていただいてご質問があるようでしたら、今できる範囲でお願いします。D評価が1事業で、D評価が出前講座の利用講座数が伸びないということで、Dということだったようですが。

福井委員 よろしですか。

小山田議長 はい、お願いします。

福井委員 福井です。2ページ目のですね、評価結果の表なんですけれど、昨年度は右の縦の平成29年度しか載ってないということで、前年度の比較もできないという意見を述べましたら、今回は平成30年度分が対象なんですけれど、しっかり要望を聞いていただいて、さらに平成28年、29年の比較をしていただいたということで、事務局の方にしっかり要望通り記載していただいているということに感謝申し上げます。

それで、この表でいくと、9番の出前講座利用講座数というのがD評価ということで、前年比から見れば28回から30回に増えてるんですけど、もともとの平成26年度では35回の実績があったし、32年度の目標は50回だということで、唯一、平成30年度はD評価のこの事業だけなっております。平成30年度の30回のうち、個人的な話なんですけれど、私は2回ほど出前講座は自分のサークルとして利用してるというのが含んでるんですけど、各公共施設には、出前講座のピンクの表紙の申込用紙も置かれていて、公共施設では出前講座というものが利用できるということについて、公共施設の利用者は皆さん理解できているけれど、一市民がこの出前講座というものを利用するというのには、まだまだ広報ができていないということで、平成32年といえど2年先なんですけれど、現状30回を50回にするとすれば、もう少し何らかの、市民に広報するような方法を設けられたら、プラスする要因にもなるん

じゃないかということで、意見を申し上げます。以上です。

小山田議長 はい、ありがとうございます。その他何かございますでしょうか。
今の福井さんの意見に私も賛同いたしますが、2ページ目の9学びを継承するための仕組みづくりという、ここがCBDでちょっと全体よりやはり評価が落ちている部分なのかなと思ひまして、やっぱり広報的な問題があるのか、何かちょっと課題があるのではないかと思いますので、またご検討いただけたらと、こちらの社会教育委員の会議でもご検討いただけたらと思ひまして、全体を見てもちょっとここが弱いのかなと思ひますので。

原田副議長 関連してよろしいですか。

小山田議長 はい、どうぞ。

原田副議長 今の関連で後ろの資料の20ページの学びを継承するための仕組みづくりで、社会教育関係団体の登録数自体が減っていると、いうことでC評価なんですね。やっぱり広報とも関係あるんですが、何かやりたいという人が、こういう情報に接する機会があるほうがいいわけですから、こういうのに、どんどん登録をしてもらってもよろしいかと思うんですね。つまり、市民の目に触れない団体がいっぱいあるということになりますので、そのために何かですね、今度登録してくださいと呼びかけるだけでなく、登録するとその団体にメリットがあるみたいなことが考えられないかなと思ひます。登録しておくとういういいことがありますよと、活動に対してですね、こういうメリットがありますということも検討していただいたほうがいいのかなと、数が減っていますのでね、100になってしまってるので、そういう感想を持ちました。

石田委員 石田です。関連して、これ登録しておくで、市民集会施設や何かを使える時に、使用料が割引していただけるんです。だから既に登録の特典はあると思ひますので。

原田副議長 そのPRをもっとするということですね。

石田委員 私たちは集会施設とか、そこを利用する時には割引していただいております。ですから、もう少し、特典の割引率とかあるといいのかもしれない。

小山田議長 特典ももう少し何か増やせたらいいということでしょうか。

石田委員 お部屋を取るときの優先順位とか。会議室はなかなか取れなかったりします。

小山田議長 こちらまた、今後の検討課題として、また皆様でもご検討いただけたらと思います。はい、柴田委員。

柴田委員 10ページのところの、重点プロジェクト子どもの居場所づくりというところなんですが、評価が平成28年度からDCDとなっています。平成30年度はDというところなんですが、こちらの計画を見ますと、子ども若者対象事業だけではなくて、子どもや子育て家庭の居場所づくりということや、その世代の学習支援ということも入っているので、評価の対象事業というところに子ども若者だけじゃなくて、そういった世代の方たちを対象とした事業数なども含めればもうちょっと事業数が多くなるのではないのかなと、換算する時に多くなるのではないかと思います。なので、ちょっとD評価というのは28年・30年と続いていますので、もうちょっと対象事業数を見直したらいいのかなというふうに思いますが、いかがでしょうか。

小山田議長 はい、事務局のほうが何かあるでしょうか。はい、菊池館長お願いします。

菊池図書館長 平成26年度が28事業ということで始まっていますが、これは貫井北センターができた時の事業数となります。この評価自体が事業の数で行っているところがあるんですけども、オープンしてから、この時はたしかにこの事業数だったんですが、そのあとに事業を統一させて、発展的に事業数を減っていったものもあるということで、ちょっと私的にもこの評価は辛いなというところがあります。数だけでみればこういうふうになってしまうんですけども、

中身的には膨らんできている。ちょっと、この目標値のところも、対象をずらすのもなかなか難しいのかなというのはあるんですけども、次回の時にはその辺も見てきたいなというふうに思っています。

小山田議長 事業数だけの評価ではなく、今のお話なども評価に反映できるようになればよいという気もしますので、その辺りをお願いいたします。

他によろしいでしょうか。今日初見ということですので、またご質問等ありましたら、こちらも今週くらい、小堀さん大丈夫ですか。あとで気が付いたことなど質問があれば。では、もしまた気が付いた点等ございましたら、今週中であれば小堀さんのほうにメール等で連絡いただければと思います。では、よろしくお願いいたします。全体としては良くなってきているということで、評価として上がっているということで。また引き続き令和元年度ですね、よろしくお願いいたします。

それでは次にまいりたいと思います。続きまして、全国大会等に参加する団体への補助金の交付についてということで、こちら資料4ですが、事務局のほうからご説明お願いいたします。

小堀生涯学習係長 はい。こちら資料4をご覧ください。こちらは小金井ハンドボールクラブという団体が関東小学校ハンドボール大会で優勝し、8月1日から5日までに行われた第32回全国小学校ハンドボール記念大会の出場権を得ました。この度、出場した団体から大会参加に要する費用についての補助金の交付申請がありましたが、社会教育法第13条の規定により、地方公共団体が社会教育関係団体に対し補助金を交付しようとする場合には、あらかじめ社会教育委員の会での意見を聞いて行わなければならないとされていることから、本日ご意見を伺いたく、議題とさせていただきました。こちらの資料の裏面に、全国大会等に参加する団体への補助金交付事務取扱基準というものを配らせていただいておりますが、こちらに職員が扱う場合の一定の基準を定めております。補助の対象経費については、大会等に参加する旅費、参加費というかたちになりまして、上限が対象経費の2分の1、金額としては20万円が上限となっております。資料にあるとおり、交付の目的としては、優秀な成績をおさめ

た優れた団体の負担を軽減し、健全な団体を育成し積極的な活動を支援するために行っているもので、この補助金制度が始まった経過としましては、学校などが部活動で大きな大会に出る時に、補助が出ますが、それと同じように学校外で活動している競技団体が全国大会等の大きな大会に出る時に同様の費用負担をしてあげたらどうかということで、始まった制度です。こういったことを考慮の上、ご意見をいただきたいと思います。こちらは8月1日から5日ということで、全国大会のほうは既に終了しておりますが、結果についてはまだ確認できておりません。今回の補助金は全国大会等に参加する団体への補助となりますので、全国大会での成績については特に関係しません。予選を勝ち上がり、全国大会等の参加に対しての補助金となりますのでご承知おきください、以上です。

小山田議長 はい、ありがとうございます。ただいまの説明のとおりということで、小金井ハンドボールクラブが全国大会参加団体ということで、出場されたということですが、それに対しての補助金の交付につきまして、今のご説明で何かご不明な点とかご質問がございますでしょうか。

福井委員 はい。福井です。この補助金に対する明細に対しては問題ないですけれど、この仕組みとして、1点お聞きしておきたいです。内容としては、今回この団体の補助金交付の依頼というのは事前に当然申請していないといけないのか、結果終わってから半年後でも申請していいのか、ということです。あともう1点、今回このハンドボールチームが補助金対象になったということなんですけれど、まだ今年度3月まで期間があるんですけれど、要望されたら、小金井市としての予算はあるんですか。それとも、今年度はこのチーム、20万円交付したら終わりだということで、どちらでしょうか。

小堀生涯学習係長 こちらは、事前に申請していただくことになっておりますので、本申請も令和元年8月1日より以前に申請としてはいただいております。ただ、社会教育委員の会議がこの時期になってしまったので、今回の会議の議題となっておりますが、申請は先にいただいております。また、今年度の予算につきましては、1団体分20万円についての予算はありますが、今後もし同じような形で全国大

会に出る団体から申請があった場合は、内部で協議をして基本的にはお出しする方向で考えています。

福井委員 はい。分かりました。

小山田議長 他に、何かご質問はございますでしょうか。そうしましたら、一応社会教育委員の会としては、承認という形でよろしいでしょうか。

石田委員 はい、よいと思います。

小山田議長 はい。それでは、こちらのほうは、社会教育委員会としては承諾、承認したということで、お願いいたします。ありがとうございました。

議題としては以上ですが、その他議題で何かございますか。よろしいでしょうか。では続きまして、2の報告事項に移りたいと思います。報告事項のまず1、令和元年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会第1回理事会についてということで、こちらのほうは、特に資料がないんですが、私のほうから口頭で報告をさせていただきます。7月23日の火曜日午後3時から、三鷹市公会堂別館さんさん館で、令和元年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会第1回理事会が開催されまして、私と事務局からは小堀生涯学習係長が2名で参加してまいりました。協議事項としまして、大きく2つありまして、1つ目が令和元年度都市社連協ブロック研修会の実施計画案ということで、各ブロックからの計画が出てくるんですが、今回ですぬ、他のブロックの研修にも参加したければ、受け入れをしてもいいんじゃないかということになりまして、ブロック幹事は詳細が決まったら連絡をします、多分こちらの小金井市のほうにも情報が来ると思います。ブロック間でも研修に行ってもいいというような形で今回は進めるということになっています。私どものブロックの幹事は今年度は調布ということで、進んでいただいております。それと、あと12月に交流大会というのがあるのですが、これは昨年度からも議論されておりました、講演会については一般公開をしてもいいんじゃないかということで、それは一応よろしいのではないかと、こちらでも可になりました。ですので、今年度の講演会からは一般の方も参加していただけるということになりま

した。12月の講演会は青木一郎さんという方が講師となっております。ちょっと説明、プロフィールが手元にないので、今のご説明ができません。申し訳ございません。

もう1つの協議事項としましては、会費改訂の件です。全国社会教育委員連合の会費改訂に関わる対応ということで、会費の値上げについて、都市社連協としては反対ということで、全国のほうに上げたんですが、全国大会では値上げが決定しました。どういう方法で値上げをするのがよいかというアンケートを、都市社連協のほうからアンケートがありましたが、その結果として、ブロック会議の予算を各ブロック6千円ずつ値下げをして、その差額を値上げ分に充てるという回答が1番多かったため、それに決定しました。小金井市としては、この意見ではなかったと思いますが、多数決ということで決定したため、来年度から各ブロックから6千円ずつ予算が減ることになりました。令和2年度の予算についてはそういったやり方にする、が、それ以降、また別の考えがあればその時に検討するということです。その議論の中で、武蔵野市さんから挙手がありまして、武蔵野市さんも値上げ自体も反対というご意向もあったんですが、全社協連から脱退ということも検討してもいいんじゃないかという、ちょっと強い意見も出てはしまして、今後そういうことも考えてもいいのではないかというようなことも、意見としてはあがったということですので、また理事会のほうではそういったことも含めて検討されると思います。大きく決まったことは2つで、あとは次回の理事会というのは令和2年の2月18日に開催を予定されているということです。以上が報告になります。何かございますでしょうか。

はい。では続きまして、第50回関東甲信越社会教育研究大会の参加についてということで、こちらは事務局からお願いいたします。

小堀生涯学習係長 はい。11月7日から8日川越市で行われるこちらの研究大会の埼玉大会ですけれども、今回、期をまたがってしまうことと、締め切りが8月30日ということでしたので、締切だけ考えるのでしたら、本日の会議の検討でも間に合ったんですけど、ただ宿泊する施設の宿泊費にだいぶ差がありましたので、なるべく希望に沿ったところに泊まっていたいただきたいということがありまして、メールとあと郵便で委員の皆様にはご連絡をさせていただきました。現状、

次期の委員の方は候補者という段階ですが、新規の委員の方にもこちらのご連絡をさせていただきまして、まず今まで行ってない委員の方を優先させていただくということで、皆さんから希望を募ったところ、1人新規の委員の方から希望がありましたので、その方には行っていただくということで、継続される予定の委員の方からは、福井委員から手が上がり、2日間とも行ける委員の方は新任委員の方と福井委員のお2人だったので、そのお2人で決定させていただいて、申込みを済ませております。以上です。

小山田議長 はい。ありがとうございました。では、継続委員の福井委員、またしっかり参加していただいて、はい、ご報告をよろしくお願ひしたいと思います。

福井委員 はい。

小山田議長 では、続きまして、3小金井市公民館中長期計画策定に係る中間報告についてということで、それでは、公民館長お願ひいたします。

林公民館長 はい。公民館長です。それでは、小金井市公民館中長期計画策定に係る中間報告について、これまでの経過を口頭にてご報告いたします。

公民館では平成30年11月より、公民館中長期計画の策定に着手し、公民館運営審議会の意見を聞きながら、検討を進めているところです。中長期計画の検討項目については、1公民館の将来像について、2公民館本館機能について、3有料化（受益者負担）について、4センター化、業務委託について、となっております。検討項目のうちですね、公民館の将来像についてと、公民館本館機能について、の2項目について検討が終了したため、明日8月27日開催の教育委員会に中間報告を行う予定となっております。主な内容についてですが、公民館の将来像については、公民館は誰もが気軽に立ち寄れ、自由に学べる機会の提供の拡大に努め、公民館で学び、福祉や社会教育団体と他の活動で実践するという機能を強化することを改めて果たすべき役割の位置付け、将来像を「つどい、学び、つながる地域の拠点（ひろば）」と決めました。次ですね、公民館の本館機能については、将来像の実現のため、福祉、子育て、学校、

環境分野の関係部署との連携を強化し、また市民力地域力の育成や資源の推進役となること等、地域課題解決学習を通じた地域づくりの中心的役割を果たしていくことを本館機能として、さまざまな情報が集約される新庁舎、(仮称)新福祉会館に公民館本館の執務機能とミーティングスペースを整備することを目指すことといたしました。また、その他の項目については、今年度令和元年度末までに検討終了し、パブリックコメント等の手続きを経て、令和2年度末までに計画を策定、完成させる予定となっております。なお、本報告ですけれども、教育委員会の承認後、社会教育委員の会議でも改めて資料を提出させていただいて、報告する予定となっております。説明は以上でございます。

小山田議長 はい。ありがとうございました。明日、教育委員会の方へ報告を行う予定ということですね。その後資料が来るということですので、次、またいただけたらと思います。

福井委員 はい。福井です。林館長から今言われたとおり、これ明日なんか承認を得て、その後我々に報告があるということと言われたから、それでまたお聞きしたいと思いますけれども、公運審の委員も積極的な意見を述べられた報告を期待したいと思うんですけど、一個人的に見ると、どういうまとめ方で報告いただくのかわからないけれど、1つ意見として、または要望的な話なんですけれども、公民館本館機能が新福祉会館のほうに入るということで聞いているんですけど、例えば、新庁舎の3階に生涯学習部が入るという場所ですね、職員の場所は。それと、あと一般市民が利用できる公民館の本館機能の学習室及び多目的室が福祉会館の2階にあるということで、階と建物自体が違うということで、できたら公民館の職員の事業係等含めまして、フットワークよく、市民に対するアフターサービス含めてですね、市民の目線でしっかりフォローしていただきたいということをこの場では結果的な報告を受けるとして、林館長にお願いしておきたいと思います。以上です。

小山田議長 はい。よろしく願いいたします。報告事項は以上になりますが、その他何かご報告されたいことはよろしいでしょうか。ある方いらっしゃいますか。

報告ということではないんですが、今度、科学の祭典が9月22日に開催されるということで、担当決め等は終わったあとに行います。

石田委員 科学の祭典で使用する材料で、テープを貼った切り取ったのが60枚、それとカットしてあるのが120枚くらいあります。それで、あと画用紙に印刷したまま、まだ切り取ってないカラー画用紙が200枚くらいはあるかなという感じなので、当日、切り取る作業と、それから折り目を入れる作業をするようだと思います。

小山田議長 では、今回は前の事前作業はしなくてもよいでしょうか。

石田委員 みんなで集まらなくても大丈夫ではないかなとは思ってますが。いかがなものでしょう。

小山田議長 そうですね。大丈夫なのはないかと思います。

石田委員 高校生スタッフを今年も頼んでますよね。

小山田議長 はい、頼んでます。

石田委員 ただ高校生に全部作業の指導を任せて、委員は裏で一生懸命こう切り取ればよいと思います。

小山田議長 では、今年度は事前の準備はなしで、当日ということになります。

石田委員 はい。はさみもありますし、それから目打ちは2本くらいかと。

小山田議長 目打ちですね。はさみ、目打ちと定規がある方はお持ちください。

石田委員 はさみはもう、数だけあります。

小山田議長 会場はNの201ですね。今まで1階だったんですが、2階になります。N棟の2階になります。お間違えのないようお願いしま

す。

福井委員 あと1点。私たち社会教育委員と公運審、その2チームだけが出て、と図書館協議会はないということによろしいですか。

小山田議長 はい、そうですね。図書館は今回は出ないということで。

福井委員 はい。

石田委員 やっぱり、担当委員が集まらないんですよ。

小山田議長 ちょっと今期は厳しいということで、また、来期は来期でまたご検討いただくということで。

福井委員 はい。それと去年、社会教育委員以外に、内田課長のほうでもスポーツというところ実施されたんですけど、今年のスポートとしてはどうなんですか。

内田スポーツ振興担当課長 スポーツとしては義足体験を去年と同じような形でやらせていただきます。去年はオリンピックの講演会をやりましたけれども、そちらに関しては今年はやらない予定です。

福井委員 分かりました。

小山田議長 ということで、科学の祭典についてはそのようにお願いしたいと思います。その他何かございますでしょうか。

 はい、それでは以上になります。では、29期は今回が最後ということになるので、ちょっとまだお時間少しあるので、継続の方もいらっしゃると思いますが、一言ずつ、29期のご感想や来期に思いがある方はその思いを語っていただけたらと思うんですけども。では首藤さんからお願いします。

首藤委員 2年間お世話になりました。私は本当はですね、6年、3期皆さん他にお辞めになる方が3期ということなんですが、私はちょっと家庭の事情というか、忙しくなって、もともと推薦を受けてこちら

に来ていた体協の方の役員を退任しましたので、自動的にこちらのほうも一期で退任ということになります。全く最初のころは、こういう教育というか生涯教育そのものに、知識がなくてですね、ちょっと苦戦したんですが、ここ1年、少し理解が進むようになってきての退陣ということで、気持ち的には少し心惜しいと言うか、残念かなというふうに思っております。でも、ちょうど過渡期に、コミュニティ・スクールという形でいくという、これからだという時期になりますので、新しい社会教育委員の皆さんでコミュニティ・スクールだけではなくて、生涯教育、小金井市における生涯教育全般の高度化、進化に寄与していただけたらというふうに思います。大変皆さんお世話になりました。ありがとうございました。(拍手)

柴田委員

今期は特に提言書、地域学校協働活動についての提言書を皆さんで作成して、教育委員会に提出したということが大きな成果なのかなと思います。小金井市の場合はトップダウンではなくて、こういう市民の立場から教育委員会のほうにコミュニティ・スクールを作ろう、地域学校協働活動をやろうというふうな機運が高まってきて、ボトムアップ型で進めるというところが特徴だと思いますし、市民力というところが高い地域なんだなというふうに今回、第29期の活動をさせていただいて実感いたしました。引き続き、ここで議論するだけで終わるのではなくて、何か今回の期の議論の中にもありましたように、例えば公民館で何か打ち上げの的なものを作ってから、みんなで熟議をしてから例えば市民一体となって地域学校協働活動を始めようとか、そういうところに今後つながればいいなというふうに希望しております。また、今後ともよろしく願いいたします。(拍手)

石田委員

石田です。私は3期6年、ここで満期となりましたので、ちょっと退かせていただきます。お世話になりました。私は、私が就いた年の27期の前、26期の社会教育委員が提言としてまとめていた生涯学習センター、箱物はできませんが、ホームページの中にそれを取り入れるという提言について応えられたということが1つの成果だと思います。そしてこれが、小金井市というホームページを開いた時にいろんなものと一緒にトップに、このホームページの生涯学習教育についてとか、生涯学習機能についてとか、活動につい

てとか、それがそのトップにくることを祈っております。そして、コミュニティ・スクールについてもいろいろできたので、何か私としては充実した6年間だったな、何もわからずに入って、本当に2年目から、やっとうこういうものかというのは分かって、そしていろいろ活動させていただいて、能力以上のことを学ばせていただいたかなと思っております。ありがとうございました。(拍手)

原田副議長

原田です。どうもありがとうございました。2期4年の活動を終えまして、仕事をしているときには全く触れなかった問題とか勉強させていただいて、何か、この委員をやっていること自体が自分にとっては社会教育になっているみたいな感じで、生きがいにもなりました。ありがとうございました。4年間ですね、地域学校協働活動のほうをテーマにしているいろんな勉強や視察もしたんですけれども、最初は本当に雲をつかむような話でですね、こんなことやっているとあるんだとびっくりするくらいだったのが、提言にまで至って、具体的に手応えがあり、小金井でもやるぞ、できるんだぞというところまで至ったというのは本当に大変充実した経験だったと思います。予定ですけども、もう1期やらせていただくことになるかと思えます。今後ともどうぞよろしく願いいたします。ありがとうございました。(拍手)

城委員

私もこの委員になりまして4年間なんでけれども、小金井市のことについて、三鷹のほうにすんでいたもので、あまり知らなかったし、社会教育についても、もう子供たちはもう結婚してそれぞれにいますので、小学校に行ったり中学校に行ったりとか、そういうことに関わることなく、お花のほうだけでやっていたので、こんなにいろんなことがあるんだっていうこと、本当に社会勉強というか、今さらと言われそうですけども、すごくいろんな勉強をさせていただいて、少しでもお役に立てるものがあれば、したいなという感じできまして、いろんなことを学ばせていただいています。またあと2年間やる予定なんですけども、それでまた勉強させていただいて、コミュニティ・スクールというの、地域学習活動というの、漠然としか知らなかったことが、こういうことをするんだなということが少しわかったような感じで、これからも学ばせていきたいと思えます。よろしく願いします。(拍手)

所委員

昨年度、前任の校長先生から引き継ぎまして、1年間ですね、皆様にお世話になりました。本当に、この社会教育が小金井市ではコミュニティ・スクールよりも先行して、非常に研究されているなど思い、私のほうも勉強になりました。皆様からいただいているさまざまな資料を参考にしながら、実践のほうを特に頑張っておきたいなと思っております。今後ともご指導ご助言どうぞよろしくお願いいたします。(拍手)

福井委員

福井です。1期2年務めました。私自身、社会教育委員としては現場を見たいという意思で、いろいろな研究大会、都市社連及び関東甲信越静への研究大会に参加しました。そこで小金井市の社会教育委員の会議というのは非常に制度として出来上がっているなということは強く思いました。他の例えば栃木県とか近隣の他府県社会教育委員と交流した結果、なかなか逆に委員のなりてがないとか、あと私はもう10年社会教育委員やっていますよとか、あと、こういう会議でも年8回我々はやっても、他府県のところは年1回または3回くらいのところまでしかないよ、というところが非常に多かったという印象がありまして、小金井市の社会教育委員の会議というのは、非常に制度として出来上がっているなという印象と、もう1つはいろいろな研究大会で、地域の講演会とかいろいろ聞きましたら、やはり地域の課題を見つけてそれを検討することは非常に重要じゃないかということで、課題解決ということ意識しながら、社会教育委員は活動されてるなという印象をもちました。それと我々ここ2年間で学んだことは、地域で子供を育てようということは再認識できたということが勉強になったということです。以上、ありがとうございました。(拍手)

小山田議長

お世話になりました。3期6年ということで、最後の期は議長を継がせていただきまして、最初、石田委員と本当に入ったすぐ後に、関東甲信越静の大会があって、2人で行かせていただいたんですが、その時も、やっぱりいろんな活動、今、福井委員からのお話もありましたが、いろんな地域でいろんな活動をされている中で、小金井は社会教育委員の会議がこんなに開かれているというのは改めて実感をし、また、動く、動くと言うかアクションを起こす社会教育

委員みたいなこともすごく論議されていて、ただ会議だけで終わってはいけないうんじやないかということがすごく言われていたので、私も会議だけじゃない、何かちょっとアクションにつながるようなことができたらと思って議長を務めさせていただいたんですけれども、大きいところではコミュニティ・スクール、社会教育活動の提言ができたということが本当に、皆様のご協力のもと、1つ形としては残せたなどと思いますが、これがスタートなので、本当にこの後ですね、本当にここで任期終了というのは非常に非常に残念で、この後を見たいというところが実はあるんですけれども、それは市民として、また何かしらいろいろな形で、ご協力していきたいと思っておりますし、見守っていきたくは思っております。本当に小金井にはいろいろな方々やら団体やら、本当にいろんな力のある地域資源がたくさんあるので、そこがうまく繋がれば、どこにも負けない素晴らしい地域学校協働活動だったり、コミュニティ・スクールが本当にできるのではないかと、私もいろんな地域とかも視察している経緯もあって、本当に思いますので、ここで皆さんが1つになって、成し遂げていただけたらなと思っております。あとは、生涯学習センター機能のホームページについても、まだちょっと始まったばかりでしたので、本当にこのあともさらに充実させていただける方向で、いろいろ検討していただけたらと思っております。個人的には、実は私の娘が成人式が、この私の任期中にあつて、娘の成人式を舞台の上で、実は見ていたという、個人的には、そういった特典的なこともさせていただいたので、本当に娘の成人式も非常に心に残っております。ということで、本当に6年間どうもありがとうございました。また、今後とも皆様を見守り応援したいと思っておりますので、ありがとうございました。よろしくお願ひいたします。(拍手)

はい。ということで、それでは最後に藤本部長から、一言お願ひしたいと思います。

藤本生涯学習部長 29期の会議は、今回が最後ということになります。また、今回をもって委員から終わられる方というのものいらっしゃいます。本当にありがとうございました。この間、いろいろ社会教育に関する問題、生涯学習に関することを審議していただいて、ご尽力いただき、本当に感謝しております。特に、この期ではさまざまなところに視察に行っていたきまして、今年の5月には地域学校協働活動

の実現に向けてという提言もいただきました。今後行政としましても、この提言の実現に向けて関係機関、関係部署とも連携を取りながら、調整しながら、何とか実現できるように取り組んでいきたいと思っています。今現在、所先生いらっしゃる緑小学校でのコミュニティ・スクールの研究も始まったばかりですので、そちらのほうの研究の内容も生かしながら、今後検討に進めていきたいとうふうに考えております。また、議長もおっしゃられて、石田委員もおっしゃられたように、生涯学習支援センター機能、まだホームページだけでは満足ということではございませんので、今後も機能の充実に向けて、行政としても取り組んでいきたいと考えています。本当にこの2年間ありがとうございました。

石田委員 こちらこそありがとうございました。

小山田議長 ありがとうございました。(拍手)

本当に、皆様いつも毎回活発なご意見をいただいて、非常に楽しい会議が開催できたと思います。それでは、第4回社会教育委員の会議ということで、第29期の社会教育委員の会議を終わらせていただきます。どうもありがとうございました。

(「お疲れ様でした。」の声あり)